



## UNHCR 久保山敬太様 講演会

みなさん、「UNHCR」を知っていますか。これは、国連の専門機関の一つ、「**国連難民高等弁務官事務所**」の略称です。ここは、難民支援を行っている機関です。2月17日にUNHCRのカイロ事務所にお勤めの久保山敬太様より、仕事内容や難民の現状についてお話を伺いました。

現在、世界にはおよそ**6,000万人の難民**がいます。難民というのは、「**人種、宗教、国籍、政治的な意見、社会集団や民族などの理由で、自分の国いると危険なため他国へ逃げた人**」です。「他国へ」と書きましたが、実は、国内に逃げる場合もあります。6,000万人の難民のうち、**2,000万人は国外に逃げ、4,000万人は国内に逃げた国内避難民**です。

UNHCRのスタッフは、9,400人で、そのうち日本人は80人です。160か国に事務所を設置しています。つまり、それだけの国で難民支援が必要ということになります。

**UNHCRの使命**を久保山さんは右のように話していました。現在、難民のほとんどは、中東とアフリカです。その中でも、もっとも支援が必要なのが**シリア難民**です。

トルコだけで、200万人のシリア難民がいると言われています。エジプトにも、シリア難民が13万人います。他に、イラクやアフリカ系難民が6.5~7万人います。

UNHCRは、このような難民をキャンプに收容し、生活全般を支援します。キャンプと言っても規模は大きく、ちょっとした街になっているところもあります。難民の人たちは、キャンプでの生活が安定すると働きはじめます。しかし、**危険な仕事**だったり**低賃金**だったりと条件はよくありません。また、貧しいがために、**子どもを十代前半で結婚させたり物乞いをしたり**している人も少なくありません。

最後に、国連職員についてお話しされました。国連職員にとって大切なことは、**①共感する心、②正義感、③多様性の尊重**です。それから、国連職員になるには、**①英語力、②大学院で修士号をとる、③2年間のフィールドを経験すること**が必要です。久保山さんが、生徒たちに仕事を考える時に大切なこととして、次の6点を話されました。



UNHCRの久保山敬太様

- ①難民の保護（迫害や飢餓、戦争のため）
- ②難民のためのキャンプの設営と管理（治安維持、水の供給）
- ③避難先の暮らしの手伝い（再定住、自主帰国の支援）

- ①新しい実体験をする。
- ②いろいろなことに興味をもつ。
- ③失敗を後悔するのではなく、反省して生かす。
- ④回り道を恐れず進もう。道と道はつながっている。
- ⑤過去を後悔するより、未来を考える行動を。
- ⑥人が求める理想を求めない。自分の夢をもとう。

この紙面では書ききれませんが、やむなく祖国から逃れ、非常に厳しい生活を余儀なくされている人の多さ。また、そのような人々を懸命に支援している人たち。豊かで、安全な国、日本。いろんなことを考えた講演でした。今の自分に何ができるだろうか。